

平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	アジア海賊対策地域協力協定拠出金(任意拠出金)		担当部局庁	総合外交政策局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成18年度		担当課室	海上安全保障政策室		室長 瀬尾 正嗣	
会計区分	一般会計		施策名	Ⅶ-1 国際機関を通じた政務及び安全保障分野に係る国際貢献			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第1項イ及び第3項		関係する計画、通知等	アジア海賊対策地域協力協定第6条			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	マラッカ海峡を含むアジアにおける海賊対策は、我が国の海上安全保障にとり極めて重要な問題であるため、我が国はアジア海賊対策地域協力協定を一貫して主導している。同協定によりシンガポールに設置された情報共有センターを通じて、マラッカ海峡沿岸国を中心とした本協定加盟国間で、海賊情報を共有し、各国の海賊事件への対処をより効率的なものにする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	情報共有センターは、本協定加盟国から得た海賊事件情報を本協定加盟国全てに共有するための業務を行っており、各国の海賊対策をより効率的なものにすることに貢献している。また、本協定加盟国の各国の窓口機関となる海上取締機関の能力向上のための各種支援も行っている。我が国は、本協定に対しては、単に財政的な貢献だけでなく、事務局長を含む2名の職員を派遣するといった人的な貢献も行っている。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		当初予算	36	33	42	41	38
		補正予算	—	—	—		
		繰越し等	—	—	—		
	計	36	33	42	41	38	
	執行額	143	143	42			
執行率(%)	100	100	100				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	本協定の加盟国間において、海賊事件の情報を共有し、各国の海賊対処をより効率的に行うことを成果目標としている。2006年の本協定の発効後、アジアにおける凶悪な海賊事件の数は一桁台である。		成果実績 凶悪事件数	4	4	4	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	情報共有センターは、本協定加盟国から得た海賊事件情報を本協定加盟国で共有するための業務等を行っている。2006年の本協定の発効後、アジアにおける凶悪な海賊事件の数は一桁台である。		活動実績 (当初見込み) 総情報件数	96	102	164	() (164)
単位当たりコスト	254(千円/件数)		算出根拠	我が国拠出額(41,732千円)÷総事件情報件数(164件)			
平成23・24年度予算内訳 (単位:千円)	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	アジア海賊対策地域協力協定拠出金	40,808	37,888				
	計	40,808	37,888				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>アジアにおいては、長期的にみると海賊事件の数は減少傾向にあることや、本協定により設置された情報共有センターの活動への国際的な評価は高まっていることなどから、本協定への我が国の拠出金の拠出も効果的なものと考えられ、本協定を一貫して主導してきた我が国としては、今後とも現状のレベルの貢献を継続していく必要がある。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		拠出額減額	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
		縮減(拠出額減額)	
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			